

## 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和2年4月1日

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4691400115
法人名	医療法人 浩愛会
事業所名	グループホーム まごころ
所在地	鹿児島県垂水市錦江町1番地238 (電話) 0994-32-6676
自己評価作成日	令和2年2月18日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/">http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/</a>
-------------	---

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	令和2年3月5日

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

基本理念 「まごころ」「寄り添い」「支え合い」を職員で共有し、日々のケアに努めている。入居者様の話を良く聴き、入居者様の感情に触れ、入居者様との関わりの中で、「お互い様」の気持ちを大切にし、入居者様と共に過ごしています。入居者様の言葉に出来ない思いや、伝えられない思いを職員で話し合い、少しでも自己実現に近づける様に職員同士で報告・連絡・相談ができるように心がけています。また、職員のスキルアップを目指し、外部の研修も積極的に参加して、ケア会議で伝達研修も行っています。

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・当事業所は、運営母体の医療機関と24時間の医療連携体制が築かれており、月2回の往診と事業所の看護師による健康管理も行っており、本人・家族の医療・健康面における安心となっている。
- ・自治会に加入し、地域行事への参加や事業所行事に地域住民や保育園児の参加があり積極的に地域と交流している。地域事業のサロンの講師として、社会福祉協議会との協働で参加している。また、認知症カフェの実施についても検討し、社会貢献に取り組んでいる。
- ・職員は、利用者の気持ちに沿ったケアを心掛け、自己決定や自立を促し、本人ができないところを支援するように努めている。また、外出等の要望には可能な限り応えられるよう個別支援等で取り組んでいる。
- ・法人として定期的な面談や人事考課の実施により、職員の向上心を育て職場の積極的で良好な関係が築かれる等、就業環境の改善に取り組んでいる。また、職員の質の向上を図るため、一人ひとりに合わせた研修会受講や資格取得を推進し支援している。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	理念は、日々のケアで方向性が違ったり、迷ったときに振り返る基になることを職員で共有できるように話し合っている	独自の理念を玄関等に掲示するとともに、パンフレットに掲載し作業着にも入れている。ケア会議で、理念に基づいたケアを実践しているか振り返りを行っている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地元のお祭りや文化祭 保育園の運動会への参加などしている。事業所の行事にも地元の方々や保育園児に呼びかけをし、交流を深めている。地域のボランティアも事業所にきてレクリエーション等の提供をしてもらい入居者様も笑顔がみられている	自治会に加入し、地域の祭りや保育園の運動会・文化祭・産業祭に参加している。事業所の夏祭り・敬老会・クリスマス会に保育園児や地域住民の参加があり地域と相互に親しく交流している。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	社協と共同で、地域のサロンに参加させてもらい、事業所の活動内容の報告や認知症の症状の理解や認知症の方との接し方について話をしている		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	会議には、行政、民生委員、家族等参加して頂き、事業所の活動内容報告をし積極的に意見や地域の情報を頂いている。	定期的に関催し、ヒヤリハットを含めた事業所の状況報告と意見交換を行っている。事業所への助言だけでなく、地域事業への協力を依頼されることもあり、相互に地域貢献の話し合いを行っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	運営推進会議時に報告をおこなったり、市の主催する研修会に参加した時など、情報交換し、助言など頂いている	市の担当者とは、運営推進会議時の意見交換や日頃から報告や相談に出向き連携を図っている。市の研修会に参加し、積極的に情報交換も行っている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	法人内に身体拘束委員会があり、委員が会議に参加し他事業所と情報交換できている。言葉の拘束についても、ケア会議で定期的に意見交換し検討している。	指針があり、法人で月1回実施している委員会時に、他事業所との情報交換をしている。勉強会は、毎月のケア会議時に実施している。日中は玄関の施錠はせず、必要に応じて言葉遣いやベッドからの滑り落ちへの対応等を検討しながら、拘束をしないケアに取り組んでいる。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待を未然に防ぐことが出来るように職員同士で、遠慮せず、正直な気持ちを話せるような事業所づくりを目指している。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	法人内勉強会に外部講師を招き、参加している。権利擁護の指針を理解し、入居者様の権利を阻害しないように取り組んでいる		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>事前に重要事項説明書をもとに説明を行っている。急変時の対応や長期入院時の対応などは家族面会時などで話し、ご理解を図っている</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>入居者様の日々の関わりの中で、言動など捉えて記録し、ご家族の面会時などで、お伝えし意見を伺い、ケア会議などで情報の共有をし検討している</p>	<p>利用者には、日常の会話で要望等を聞いている。家族には、運営推進会議や家族会で意見等を出してもらったり、面会時に要望等を聞いている。要望等はケア会議で情報を共有し、対応を検討している。</p>	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>定期的に面談を行っており、意見交換を行っている。運営はケア会議で職員間で意見を出し合い、職場環境作りに生かしている</p>	<p>定期的実施している面談や月1回のケア会議で職員の提案等を聞いており、家族とのコミュニケーションの取り方について話し合い、家族への統一した対応を取るように反映した事例がある。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>人事考課などを実施し、勤務状態の評価をし、個人面談時に向上心をもてるように配慮しながら本人にも話をしたりしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>職員の個性や能力・得意とすることを把握し、法人内外の研修計画を立てている。また年度はじめに「目標管理シート」を作成して取り組んでいる</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>地域で行われる研修会に職員を参加させ、市内の他事業所の職員とも顔見知りの関係ができる時間をつくっている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入所開始からすぐには、信頼関係を築くことは難しい事を家族に説明し、ご理解・協力をお願いしている。職員にも入居者様の不安な気持ちを傾聴し、寄り添うよう取り組んでいる。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	契約時に、家族の今までの経緯や困りごとなど聞くようにしているが、不安な気持ちや思いは変化していくのでその都度話してもらえそうな信頼関係の構築を心がけている		
17		○初期対応の見極めと支援  サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人・家族の意向を確認しながら、無理のない様にスムーズにサービスが提供出来る様にしている		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係  職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	入居者様を尊重し、職員の事を受け入れてもらえるよう日々努力している。信頼関係のもとにできることは職員と一緒にしてもらい「ありがとう」「助かっています」の気持ちを伝える様にしている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		<p>○本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>入所されたことで、関係性が薄くならない様に、電話やたよりなどで近況報告し、協力をお願いしている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>入居者様との会話の中から馴染みの人や場所を聞き、希望されることを提案し、家族にもご理解をもらい、実現できるように支援している</p>	<p>家族と墓参りや美容室・買い物・外食に出かけたり、数人の兄弟が居室で会食することもある。職員が墓参りや外食・買い物に同行したり手紙や電話を支援する等、これまでの関係が途切れないように支援している。</p>	
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>入居者様の関係性を大事にし、職員間で情報共有しながら、席の配置を考えている。気分の変動がみられる時は職員が関わるように心がけている</p>		
22		<p>○関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>退去時にいままでの関わりに感謝していることを伝えるようにしている。退去されても、関係性を大切にしていきたいことを伝えている</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	入居者様との日々の会話の中から希望を把握し、本人本位の考え方をもとに職員間で検討している。家族にも相談し協力をお願いしたりしている	日々の会話で本人の意向を把握するように努め、表情や食事量で気持ちを推測することもある。言葉にできない利用者には特に、職員が気配りをして、意向を汲み取れるよう努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	情報提供書の把握をし、入居者様・家族との関わりの中で知り得た情報も職員間で共有出来る様にケア会議などで話し合っている		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	入居者様一人ひとりの個性を大切にし、日々の関わりの中で「気づいたこと」を共有し、活かせることが出来る様にしている		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人の要望を中心に考え、家族に確認しながら、職員の意見を参考にし介護計画を作成している。また担当職員も設け、サービス提供確認や評価ができるよう努めている	事前に家族の要望等を把握しておき、担当者会議で本人の要望を基に検討して介護計画を作成している。モニタリングは3か月に1回実施し、3ヶ月に1回及び状況変化時に計画を見直している。	



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	介護記録や申し送り、連絡ノートを活用し、職員間で情報共有に努め、サービス内容の振り返りや介護計画の見直しに活かしている		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人・家族の状況変化に対応できるように、職員間でサービス内容の検討をし、様々な意見をもとに柔軟な支援が出来る様に取り組んでいる		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	なじみのスーパーやお寺など定期的に行けるよう支援している。また自宅だけではなく、生まれた地域の把握をし、市報などで地域の情報を伝えるようにしている		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居前の関係性を大切にし、本人・家族の意向によりかかりつけ医を決めてもらっている。必要に応じて、受診支援もおこなっている	契約時に確認し、全員が母体医療機関をかかりつけ医としている。月2回の往診と事業所看護師の健康管理が行われている。他科受診は、家族対応を基本とし、状況により職員が同行支援または送迎をしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>看護師に些細な事も相談し、助言をもらっている。またかかりつけ病院の看護師との情報交換の窓口になってもらっている</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院時は当該病院の相談員と連絡をとり、情報提供をしたり、状態把握に努めている。本人・家族にも連携していることを伝え、不安な気持ちが軽減出来る様取り組んでいる。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>契約時、リスク説明の中で終末期の要望を確認し事業所での取り組みを説明し、ご理解をしてもらっている。関わりの中で終末期のあり方についても変化が見られると思うので、柔軟な支援が出来る様にし、チームで取り組めるように情報共有に努めている</p>	<p>契約時に指針で説明し、同意書もらっている。状況を見ながら特別養護老人ホーム等の選択肢について説明をしている。重度化等の場合、医師から家族の説明に職員が同席し、再度、指針で説明し意向を確認している。意向に沿って柔軟に支援に取り組んでおり、看取り介護の事例がある。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>急変時の対応は定期的に勉強会を開催し、確認している。また年2回の防災訓練時に救命訓練を計画し参加している</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>年2回 避難訓練を行っている。夜間発生時の緊急連絡の訓練は行ってはいるが、人員の少ない時の避難については職員間で検討している。海岸沿いでもある為津波の避難訓練も計画したいと考える</p>	<p>年2回昼間想定 of 避難訓練を隣接の3事業所合同で実施し、消防署の立ち合いがある。運営推進会議時に実施し、住民・法人の協力体制がある。備蓄は水・レトルト食品・缶詰等を本部から支給されている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	入居者様一人ひとりの人格を大切にし、生活歴も様々であることを認識し、理解しながら対応することを心がけている	法人で年1回外部講師による研修を実施している。個人情報厳守し、羞恥心への配慮を心掛け、その人に合わせた誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応に努めている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	入居者様の希望を日々の関わりの中から引き出し、自己決定を促し、実現できるように支援している		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	事業所の1日の流れはあるが、パーソンセンタードケアの履行を念頭に、その方のペースで過ごせるよう職員間で共通の認識を持ち取り組んでいる		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	衣服は必ず本人に選んでいただいている。整髪もできるだけ自分でしていただくようにしており、家族の協力をもらってなじみの美容室へ行かれたりしている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の準備や片づけを入居者様と一緒にこなっている。畑の野菜の収穫から下ごしらえ、調理の手伝いも手伝ってもらったりしており、感謝の気持ちを伝える様にしている	栄養士の献立で菜園の野菜も取り入れて調理し、下ごしらえや片付けを利用者も一緒に行っている。誕生日のケーキ・季節の行事食・そうめん流し・焼き芋・外食等で楽しんでもらえるようにしている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事メニューにおいてが、管理栄養士の指導を受け、食事の提供を行っている。1日分の食事・水分摂取量を記録し、少ない方には、飲食物の工夫をしている		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後に口腔ケアを行い、本人が出来る方は自己にておこなってもらい、最後に確認するようにしている		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	介護記録に排泄状況を記録し、パターンを理解する事で、失敗を防ぐことが出来、本人の自信にもつながっている。できるだけトイレで排泄する取り組みをし実行している	排泄チェック表でパターンを把握し、個々に合わせて声掛けや誘導を行っている。昼夜共、トイレでの排泄を基本に支援している。リハパンから布パンツとパット使用に改善した例がある。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排泄記録により、排便の状態を把握している。水分量の確認やオリゴ糖を使用したりして早めの対応に努めている。排便困難な方にはかかりつけ医に相談し薬剤を使用し体調管理に努めている		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴は楽しみの時間になっているため、本人の希望、ペースに合わせて入浴出来る様に支援している。	週2回以上の入浴を希望の時間で実施し、毎日入る利用者もあり、しょうぶ湯や柚子湯も楽しんでもらっている。必要時には2人介助を実施し、浴室暖房・脱衣室のエアコンも設置されている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	睡眠パターンを記録し、睡眠状態を把握できるようにしている。不眠・不穏のある方は無理強いせず本人のペースを大事にすることを心がけている		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬管理は事務所でしている。スタッフが複数で確認し、与薬時には本人と確認するよう取り組んでいる。処方内容も確認し、変更時は申し送りノートに記載し情報の共有が出来る様にしている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>ご本人の意向を大事にし、職員間で情報共有、検討し出来る事を取組んでもらうようにしている。ご本人にあった「役割」が見いだせるように努めている</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>隣接施設と合同で行事計画をし、外出している。また一人ひとり希望も様々なので実現できるように、家族・地域にも協力をお願いしている</p>	<p>天候の良い日は、散歩や近くのスーパーに出かけている。計画を立てて、初詣や花見・ドライブ・そうめん流し・外食に出かけたり、希望に沿って自宅訪問やドライブ等の個別支援を実施している。また、家族の協力で墓参りや美容室・買い物・外食等に出かける利用者もある。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>外出時や外食時に本人が財布から支払できるように支援している。また必要な物や本人の嗜好品など可能な限り一緒に買い物に行くようにしている</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>ご本人の希望時は、電話支援している。家族からの郵便の受け渡しも行っている。手紙のやり取りを希望される方はいませんが、声掛けし希望時は支援していきます</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節や天候を考えながら快適な空間づくりを心がけています。またレクリエーションで作成した季節にあった工作を展示し、季節感を感じられる様に工夫している	リビングは天井が高く1段高い和室もあるゆったりとした広さである。障子の柔らかな日差しと、空気清浄機やエアコンで適度な室内環境に調節され、季節の花等が飾られている。居心地よく過ごせるよう席替えなどを工夫し、利用者は好みのソファ等でくつろいでいる。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	和室やソファを利用して、気の合う方々で過ごせる時間が増えるように配慮している。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入所前に本人・家族と相談し、自宅で使用されていた物やこだわりの物など持ってきていただき本人が落ち着いて過ごせるようにしている。また本人が安全に移動できるようにレイアウトも考えている	居室はベッド・タンス・エアコンを備え、寝具はリースである。自宅等の仏壇やテレビ・写真・時計・ぬいぐるみ等を持ち込んで、本人が安心して過ごせる部屋作りをしている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	一人ひとりの能力に応じて、居室の工夫をしたりホールやトイレの場所もわかりやすいように表示している		



## V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない